

再生重油を加温燃料に使った農業施設の建設

GNホールディングス

GNホールディングス（天野慎太郎社長、群馬県前橋市）は、2022年末に新規農業法人「株式会社mino-Lio（ミノリオ）」を設立し、農業界では従来ほとんど使用されてこなかった再生重油を加温燃料として利用する農業施設の建設に着手した。

日産・ルノーを取り扱う群馬日産と日産プリンス群馬、UDトラックスを取り扱うGNロジパートナーズ、アウデ

イ正規ディーラーを運営するアウディ営業部を傘下に擁するGNホールディングスは、自動車やトラックの定期点検などで年間約44万リットルのエンジンオイルを交換・排出している。この廃オイルは、不純物を濾過すれば再生重油として農業用ビニールハウス加温用燃料にリサイクル可能となる。

近年、農業用ビニールハウスの加温燃料として用いられているA重油はウクライナ問題などで価格が高騰し、農家の経営を圧迫している。一方で再生重油は安価なため、この積極活用が重油高騰対策として有効な選択肢となる。

また、再生重油は省エネ法で非化石燃料に分類され、燃焼しても二酸化炭素（CO₂）の排出は実質ゼロカウントとなるため、脱炭素農法の強力なツールとなる。

ミノリオでは、園芸用ビニールハウスと再生重油を加温燃料とした加温設備を導入し、高崎市中尾町にいちご農園を建設した。高崎市とは、再生重油利用のための研究と普及に関する個

別の研究と普及に関する個

廃オイルで資源循環型農業を実現



別連携協定を締結しており、将来的には再生重油そのものとその利用スキームを群馬県内の農家・農業法人に提供することで、循環型経済と地球温暖化対策への貢献を目指していく。

【受賞者コメント】

私もGNグループでは、年間44万リットルの使用済みエンジンオイルが排出されています。その廃エンジンオイルを濾過し、農業用燃料に転換することで、環境面に配慮した資源循環型農業が実現できます。私もはこの取り組みを進めることによりハウス園芸によるいちご栽培と農家の方々への安価なエネルギー提供を同時に達成させたいと考えております。

資源循環型農業の推進は、農業界の持続的発展につながると確信しております。

